

別 紙

第60回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第1分科会	演題番号	123
題 名	ふじのくに感染症専門医協働チーム (FICT) 新型コロナウイルス感染症対応を通して得られた課題と今後に向けて		
所 属	感染症対策局 新型コロナ対策企画課		
氏 名	○吉田 愛子 内田 知康 伊藤 正章 川田 敦子 米山 紀子 後藤 幹生		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>「ふじのくに感染症専門医協働チーム (ふじのくにInfection Control Team)」 (以下、「FICT」という。) は令和2年5月8日に設置された。</p> <p>FICTは、県内医療機関の感染症専門医やDMAT等で構成され、新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設への介入・支援を始め、軽症者向け宿泊療養施設への医療支援、県庁・保健所本部への支援、コアメンバー一定例情報交換会における情報共有・意見交換の他、後方支援病院への実地指導や研修講師等、幅広く活動を行った。</p> <p>今回の発表では、コロナ禍におけるFICTの活動を振り返り、介入者や介入を受けた側の施設への調査を通して、今後の課題を検討したため、報告する。</p> <p>FICTは、新型コロナウイルス感染症クラスターの早期収束、拡大防止を目的に令和2年11月から令和6年2月末までに実176施設に介入。介入した施設は、主に医療機関や福祉施設となる。</p> <p>介入時には感染対策への助言のみならず、対策本部設置支援や人員・物品調整、職員のメンタルケア等、多岐にわたり支援した。</p> <p>FICTメンバーに対する調査結果と介入支援を受けた側の施設に対する調査結果を比較したところ、FICTの介入支援が施設側の感染対策向上の機会となっていることが明らかになった。</p> <p>また、FICT活動を通して『行政と専門医との連携』や『施設職員の感染症対応スキル向上』について課題が明らかになった。</p>		